

祇園山古墳(久留米市)

ここを進んだ所に祇園山古墳が所在する



右手に「祇園山古墳」と記された標柱が立っていた



前方の丘の上に見えるマウンドが祇園山古墳



手前に柵が設けられている



正面のマウンドが祇園山古墳/右手に説明板が立っている

[video](#)



高良山から西に派生する丘陵端部に立地する3世紀中頃築造の方墳で、墳丘裾部と盛土上段に葺石を備える/埋葬施設は墳頂部中央付近に納められた箱式石棺で、棺内には朱が塗られていた/墳丘の周囲では、甕棺墓や箱式石棺墓、竪穴式石室など62基の埋葬施設が確認されている

祇園山古墳

久留米市御井町二九九―二一九他
福岡県指定史跡 昭和五三年三月二五日指定

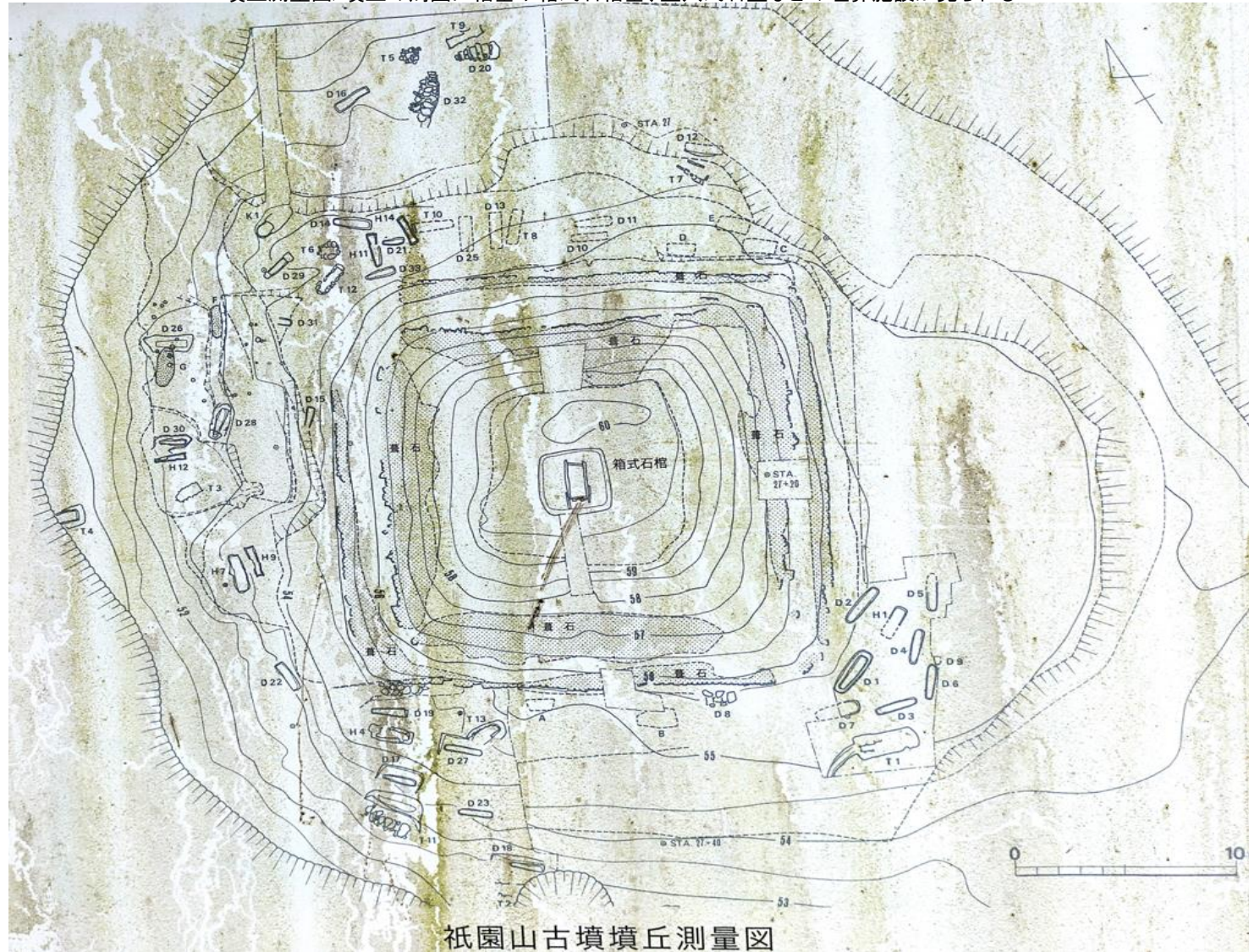
祇園山古墳は、古墳時代前期に築かれたと見られる古墳です。墳丘形態は方墳（平面形が方形の古墳）で、規模は東西約二三メートル、南北約二二・九メートル、高さ約五メートルを測ります。墳丘は本来の地形を整形した上部に盛土を行うことにより構築されており、墳丘裾部と上段の盛土部分には葺石が確認されています。

埋葬施設は、墳頂部のほぼ中央に納められた箱式石棺です。石棺の大きさは、底部付近で長さ約二メートル、幅約九〇センチメートル、深さ約九〇センチメートルで、棺内には蓋石も含めて朱が塗られていました。石棺は古い時代に盗掘を受けたと見られ、内部からの副葬品の出土はありませんでした。

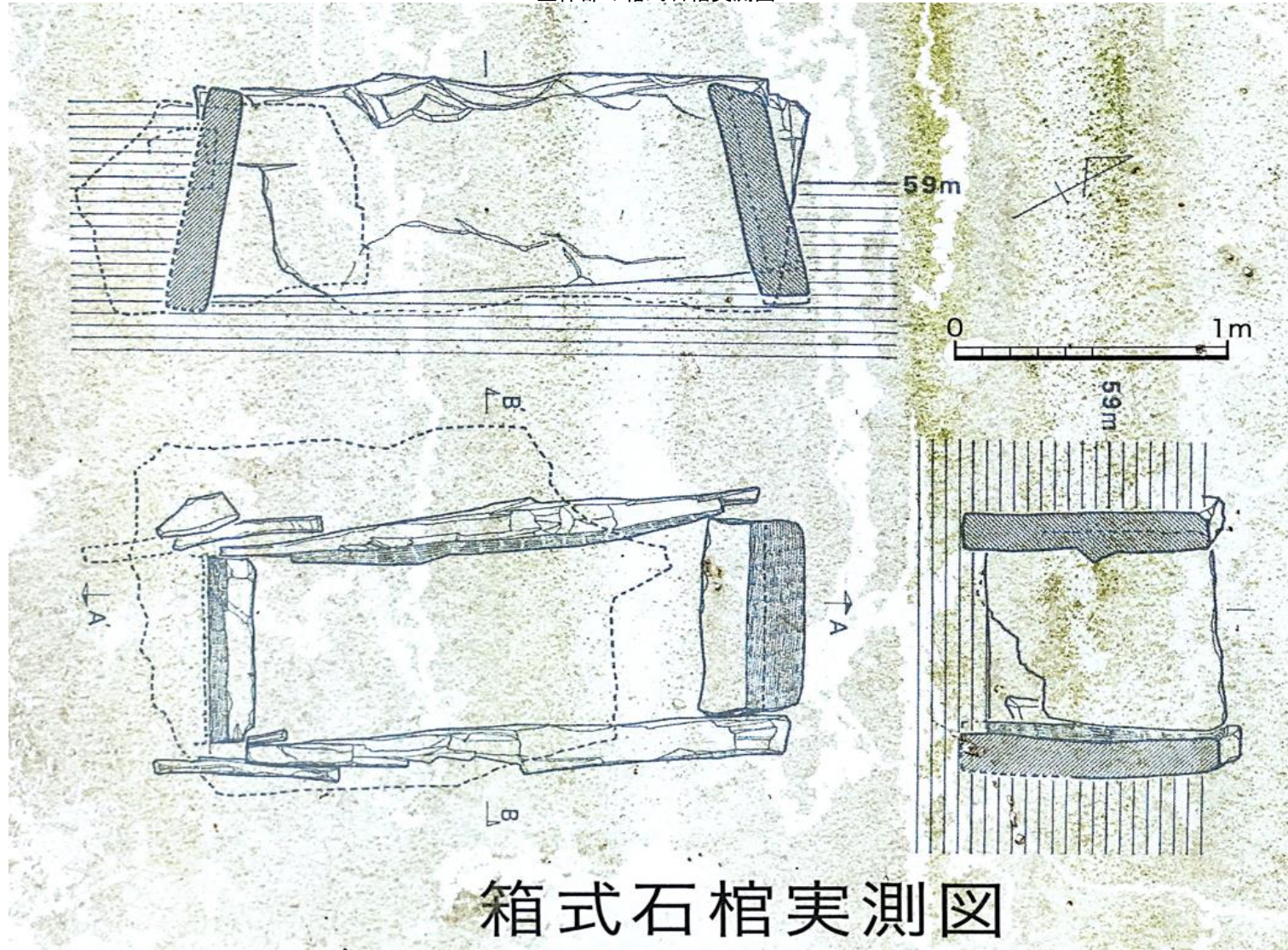
祇園山古墳は、現在久留米市内で確認されている古墳の中で最も古い段階に築かれた首長墓です。

祇園山古墳の墳丘外周からは、発掘調査時に甕棺墓三基、石蓋土墳墓三二基（未調査五、不明二を含む）、箱式石棺墓七基、竪穴式石室一三基、不明七基の埋葬施設が確認されています。また、第一号甕棺からは、銅鏡片や勾玉・管玉が出土しています。

墳丘測量図/墳丘の周囲に棺墓や箱式石棺墓、竪穴式石室などの埋葬施設が見られる



主体部の箱式石棺実測図



九州縦貫自動車道路の建設に伴い調査後に壊される予定だったが、保存を求める運動等を受け大部分が保存されたという



墳丘側面（調査当時）

正面が主体部の箱式石棺/棺あって櫛なし！？



アップで見たところ



墳頂から登って来た方向を見下ろしたところ



筑後平野を一望できる素晴らしい立地だ！

 [video](#)



墳丘の角を見下ろしたところ



その角に下りて見たところ/方墳であることが見て取れる

 [video](#)



墳丘裾部に葺石が残っていた



これは祇園山古墳のすぐ手前に鎮座する袴着天満宮(出目天満宮)



ところで、この祇園山古墳は築造時期や周囲に追葬あるいは殉葬と見られる墓があるなど、邪馬台国の卑弥呼の墓ではないかとの説があるが、邪馬台国九州説をとるとすると、立地の状況などから如何にもとも思えるのだが、前方の筑後平野に7万戸といわれる巨大なクニの遺構が眠っているのであらうか…

